

令和 9 年 度

神戸大学大学院

人間発達環境学研究科博士課程前期課程

学生募集要項

注意 志願者の皆様へ

諸般の事情から、本募集要項発表後に入試方法等を変更することがあります。変更する場合は、神戸大学大学院人間発達環境学研究科ウェブサイトにてお知らせしますので、出願を予定されている方は、こまめにウェブサイトをご確認ください。特に、出願の直前及び試験実施日の直前には、必ずご確認をお願いいたします。

(神戸大学大学院人間発達環境学研究科ウェブサイト)

<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/>

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

人間発達環境学研究科の組織

| 専攻 | 講座 | 教育研究分野 | 前期課程履修コース | 附属施設 |
|-------|----------------------|---------|-----------|--|
| 人間発達 | 人間発達 | 心理系 | 臨床心理学コース | ■未来共創プラットフォーム ▷ヒューマン・コミュニティ創成研究センター（HCセンター） ▶のびやかスペース あーち（HCセンターサテライト施設） ▷心理教育相談室 ▷教育連携推進室 ▷サイエンスショップ ▷アクティブエイジング研究センター |
| | | 表現系 | | |
| | | 行動系 | | |
| | | 教育系 | | |
| | | — | 1年履修コース | |
| 人間環境学 | 人間環境学 | 環境基礎科学系 | | |
| | | 環境形成科学系 | | |
| | 連携講座 環境先端科学（後期課程） | 環境先端科学 | | |

【取得できる学位】

人間発達環境学研究科博士課程前期課程を修了した者は、修士（学術）を基本とし、教育研究内容により人間発達専攻においては修士（教育学）、人間環境学専攻においては修士（理学）の学位を取得できます。

目 次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1. | アドミッション・ポリシー | 1 |
| 2. | 募集人員 | 1 |
| 3. | 出願資格 | 2 |
| 4. | 出願期間 | 4 |
| 5. | 出願方法 | 4 |
| 6. | 障害のある者の出願 | 6 |
| 7. | 試験方法、試験期日及び試験場 | 6 |
| | （別表）試験科目・試験時間等 | |
| | I 試験科目 | 8 |
| | II 口述試験 | 11 |
| | III 試験時間等 | 11 |
| 8. | 合格者発表 | 12 |
| 9. | 入学手続 | 12 |
| 10. | 個人情報の取扱いについて | 12 |
| 11. | 注意事項 | 13 |
| 12. | 長期履修学生制度 | 13 |
| 13. | 志願者数等の状況 | 13 |
| 14. | 過去問の閲覧について | 14 |
| 15. | 麻しん（はしか）、風しんの感染予防措置 | 15 |
| 16. | 教員一覧 | 16 |

教育方法の特例（夜間及び土・日曜日開講等）の実施

本研究科は、一部の授業において、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間を、通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に設けます。）を実施します。

1. アドミッション・ポリシー

人間発達環境学研究科は、人間の発達及びそれを取り巻く環境に関わる基礎的並びに応用的・実践的な教育研究活動に主体的に参加し、これを推進する指導的役割を担える高度な専門的能力を有する人材の養成を目指しています。そのため、次のような資質・能力を持った学生を積極的に受け入れます。

●人間発達環境学研究科博士課程前期課程の求める学生像

1. 高度な研究を遂行していくための基礎的な資質・能力
〔求める要素：知識・技能〕
2. 人間の発達や環境に関する諸問題に対する鋭敏な感受性と深い専門知識にもとづいて新しい課題を析出していく資質・能力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕
3. 多角的かつ重層的に課題を分析・考察し，体系的に概念化と理論化を行うことができる高度な知的能力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕
4. 現代的諸問題を解決するための具体的方策を提案し，柔軟に対応できる行動力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために、人間発達環境学研究科博士課程前期課程のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測り、総合的に判断します。

一般入試，社会人特別入試および外国人留学生特別入試では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測り、総合的に判断します。

2. 募集人員

| 専攻 | 講座 | 受験区分 | 募集人員 | 備考 |
|-------|-------|---------|------|--|
| 人間発達 | 人間発達 | 心理系 | 51人 | 募集人員の中には、社会人特別入試若干名及び外国人留学生特別入試若干名を含む。 |
| | | 臨床心理学 | | |
| | | 表現系 | | |
| | | 行動系 | | |
| | | 教育系 | | |
| 人間環境学 | 人間環境学 | 自然環境論 | 18人 | |
| | | 数理情報環境論 | | |
| | | 生活環境論 | | |
| | | 社会環境論 | | |

- (注) 1. 人間発達専攻募集人員51人のうち、臨床心理学コースは、公認心理師の受験資格を取得できるカリキュラムを有するコースで、10人程度を募集します。なお、公認心理師の受験資格を得るためには学部においても公認心理師に必要な科目を履修し卒業しているか、もしくは受験資格特例の条件を満たしておく必要があります。(臨床心理士資格認定試験の受験資格を取得することはできません。)
2. 人間発達専攻の1年履修コースは、別途募集します。
 3. 人間環境学専攻の推薦入試は、別途募集します。

3. 出願資格

① 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科(当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに22歳に達するもの

② 社会人特別入試

入学の時点で、社会人としての経験を3年以上有し、次の各号のいずれかに該当する者ただし、外国人留学生は除きます。

なお、社会人特別入試への出願資格のあるものでも、一般入試への出願は可能です。

- (1) 大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに22歳に達するもの

③ 外国人留学生特別入試

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (2) 日本の大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに22歳に達するもの

(注意) 個別の入学資格（出願資格事前）審査について

上記一般入試の出願資格(9)又は(10)及び社会人特別入試の出願資格(9)又は(10)並びに外国人留学生特別入試の出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は、出願に先立って本研究科の出願資格事前審査を受けなければなりません。

なお、一般入試の出願資格(10)及び社会人特別入試の出願資格(10)並びに外国人留学生特別入試の出願資格(8)に該当する者とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者（見込みを含む。）など大学卒業資格を有していない者を指します。

事前審査を受けようとする者は、次の①から⑦の書類等を**令和8年6月19日(金)から令和8年6月25日(木)までに**、郵送（書留速達郵便、必着）してください。

- ① 出願資格審査願（Webページ掲載の願書に氏名等を記載のうえご提出ください。）
- ② 履歴書（Webページ掲載の履歴書を使用してください。）
- ③ 最終学校長が作成した成績証明書及び卒業・修了（見込み）証明書又は退学証明書
- ④ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると思われる志願者の学習歴及び実務経験・国際的活動経験等についての記述（形式は自由）

なお、著書、論文、特許、実用新案及び雑誌記事等、その他参考になるとと思われる業績

がある場合は当該資料（コピー可）

- ⑤ 本研究科における研究計画書（Webページ掲載の研究計画書を使用してください。）
- ⑥ 審査結果通知用封筒（定形封筒に返送先住所、氏名、郵便番号を記入し、速達郵便用切手410円分を貼りつけたもの）
- ⑦ 学部の成績証明書及び退学証明書（一般入試の出願資格(9)及び社会人特別入試の出願資格(9)並びに外国人留学生特別入試の出願資格(7)により出願しようとする者のみ）

※審査のために提出された書類は返却しません。

※本研究科においては、提出された書類に基づき、個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の具体的な内容及び研究計画書等を総合的に勘案して、出願資格について審査を行います。

※審査の結果は、遅くとも令和8年7月17日(金)までに本人あて通知します。

※審査の結果を通知するまで出願書類の送付及び検定料は払込まないでください。

4. 出願期間

令和8年7月21日(火)から令和8年7月27日(月)午後4時まで(必着)

出願を郵送により行う者は、書留速達郵便で郵便事情を十分考慮して早めに郵送してください。

また、出願を持参により行う者は、上記出願期間のうち土日を除き、**午前9時～午後0時、午後1時～午後4時**に持参してください。

なお、受験票は、後日送付します。

出願書類・入学資格審査書類等の送付先及び学生募集に関する問い合わせ先

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3丁目11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科教務学生係

TEL (078)803-7924

※封筒の表に「**大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程入学願書在中**」と朱書してください。

※入学資格（出願資格事前）審査書類を送付する際は、封筒の表に「**博士課程前期課程事前審査書類在中**」と朱書してください。

5. 出願方法

出願者は、次の書類等を取りそろえ書留速達にて郵送又は持参してください。

なお、個別の入学資格（出願資格事前）審査を願い出て許可になった者は、次の(1)、(2)、(6)の書類は提出しなくてかまいません。また、受験区分によっては、研究報告書、論文等を提出させる場合があるので、別表（9ページ）を参照してください。

人間環境学専攻に出願する外国人留学生に限り、入学願書、履歴書、受験票・整理票、研究計画書の英語版フォーマットを用いてもかまいません。

| 提出書類等 | 摘 要 |
|---|--|
| (1) 入学願書 ・履歴書 | (本研究科所定の用紙) 6ページ(注1)参照 |
| (2) 成績証明書 及び 卒業(見込) 証明書又は 修了(見込) 証明書 | <p>出願資格を証明する出身大学の学部長(学長)又は出身学校長等が作成したもの。</p> <p>① 編入学により入学し、大学を卒業した(又は卒業見込みの)者は、編入学前の大学等の成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>② 一般入試の出願資格(2)及び社会人特別入試の出願資格(2)(大学改革支援・学位授与機構で学士の学位を授与された者又は授与される見込みの者)により出願しようとする者は、学位授与証明書(学位申請受理証明書)、成績証明書等学位取得に係る証明書すべてを提出してください。(注)</p> <p>③ 一般入試の出願資格(7)及び社会人特別入試の出願資格(7)並びに外国人留学生特別入試の出願資格(6)により出願しようとする者は、証明書内に「修業年限が4年以上であること」、「課程の修了に必要な総授業時間数が3,400時間以上あること」の必要要件が明記された証明書を提出してください。</p> <p>※ 証明書に記載された氏名が卒業等の後、婚姻等により変更した場合は、それを証する公的機関の発行した証明書等を添付してください。</p> <p>※ 外国の大学を卒業した者は、出身大学から発行された卒業証明書、成績証明書に加え、学位証書の写し及び卒業証書の写しを提出してください。出願時に大学在学中の場合は、卒業見込証明書、学位取得見込証明書、成績証明書を提出してください。提出が難しい場合は、速やかに人間発達環境学研究科教務学生係へ申し出てください。</p> |
| (3) 英語試験に関して成績を証明する書類 | <p>TOEIC公開テスト(TOEIC L&R又はS&W)、TOEIC-IP、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、IELTS(アカデミック・モジュール)のいずれかのスコアを証明する書類※(コピーではなく原本に限る。)。2021年(令和3年)8月1日以降に受験したものを有効とします。複数の試験を受けている場合は、複数の結果の提出を認めます。出願後8月31日までに証明書類が新たに得られる場合は、出願時にあらかじめ申告の上、追加の提出を認めます。追加の提出については、8月31日(月)午後3時(必着)を期限とし、出願時と同じく書留速達郵便による郵送のみとします。</p> <p>※ TOEIC-IP(オンライン受験)のスコア及びIELTS Indicator(オンライン受験)のスコア及びTOEFL-Essentialsのスコアは対象としません。</p> <p>※ TOEIC公開テスト(TOEIC L&R又はS&W)については、「デジタル公式認定証を印刷したもの」または「公式認定証(試験日から30日以内に手元に届くもの)」のいずれかをご提出ください。</p> |
| (4) 受験票、 整理票 | (本研究科所定の用紙) |
| (5) 写 真 | 3枚(上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm) 出願前3か月以内に撮影したものを、入学願書、受験票及び整理票の所定の欄に貼ってください。 |
| (6) 研究計画書 | (本研究科所定の用紙) 当該受験区分への志望理由及び研究上の問題意識を明確に記入し、作成してください。特に、社会人特別入試で受験する者は、社会人経験等をふまえて作成してください。 |

| | |
|--------------------------|---|
| (7) 表現系プレゼンテーション申請書 | (本研究科所定の用紙) 受験区分「表現系」志望者のみ提出してください。 |
| (8) 検 定 料 | 30,000円 本研究科所定の郵便局専用払込用紙(検定料用)を使用して郵便局に払込み、「振替払込受付証明書(郵便局の日附印が必要)」を入学願書表面の所定の欄に必ず貼ってください。 ① 出願時に国費外国人留学生である者のうち、令和9年4月1日以降において、引き続き「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続が可能な資格を有する者」については、検定料は不要です。 ② ①より出願時に検定料の払込みを行わない場合は、出願時に①に該当する者であることを証明する次の書面を添付してください。 (現に本学に国費外国人留学生として在籍し①に該当する者は、証明する書面を添付する必要はありません。) ・ 在学する大学発行の国費外国人留学生である旨の証明書 ・ 在学する大学発行の①に定める延長申請手続について資格を有する者である旨の証明書 ・ ①に定める延長申請手続を行う予定である旨の本人の申立書 ③ ②の記載について不明な点がある場合は、出願前(検定料払込前)に神戸大学大学院人間発達環境学研究科教務学生係にお尋ねください。 ※納付した検定料は、出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 |
| (9) 住民票(写)等 (出願資格③のみ) | 出願資格③外国人留学生特別入試で既に日本に居住している出願者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(提出日前30日以内に発行されたものに限る。)又はこれに代わる書類(「在留カード」「外国人登録証明書」のコピー(表裏両面をコピーしたもの))を提出してください。 |
| (10) 受験票送付用封筒 | 長形3号(縦約23cm×横12cm) 住所、氏名、郵便番号を記入し、郵便切手410円分を貼ってください。 |
| (11) あて名ラベル | 1枚(2回分)(本研究科所定の用紙) 住所、氏名、郵便番号を記入してください。 |

- (注1) 受験区分「生活環境論」で受験する方は、希望する指導教員の研究分野と、選択する筆記試験科目を必ず一致させるようにしてください。(筆記試験科目が分かりにくい場合は、教務学生係までお尋ねください)
- (注2) 受験区分「社会環境論」で受験する方は、事前に指導を希望する教員に対面やメールで連絡を取ることを推奨します。選択する筆記試験科目が分かりにくい場合には、教務学生係までお尋ねください
- (注3) 一度受理した出願書類の返却には一切応じません。
- (注4) 次のいずれかに該当する者で、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者は、上記の書類のほか、当該専攻科の「修了見込証明書」及び「学位授与申請予定証明書」(様式随意:学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの)を提出してください。
①修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科
②修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科
③高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科

6. 障害のある者の出願

障害のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として令和8年6月29日(月)までに申し出て相談してください。
なお、相談に日数を要する場合がありますので、できるだけ早く申し出てください。

7. 試験方法、試験期日及び試験場

- (1) 試験方法
専門科目（筆記試験（プレゼンテーションを含む。））及び口述試験の成績，提出された英語試験の成績，出身大学の成績証明書等を総合して選抜します。
また，試験科目，口述試験については，別表Ⅰ～Ⅱ（8～11ページ）を参照してください。

- (2) 試験期日
令和8年9月10日(木)・11日(金)
ただし，出願状況によっては9月10日(木)1日を実施する場合があります。実施日時については，受験票送付の際に通知します。
なお，人間発達専攻で受験区分「臨床心理学」を受験する者については，筆記試験および提出された英語試験の結果により募集人員の2倍程度まで選抜し，その合格者のみ口述試験を行います。筆記試験選抜結果は，口述試験当日の午前11時に入学試験に関する掲示場(人間発達環境学研究科掲示板)に発表します。
また，試験時間等については，別表Ⅲ（11ページ）を参照してください。

新型コロナウイルス感染症等の影響により，対面で安全に入試を実施できないと判断した場合は，以下の期日に試験を延期します。

(新型コロナウイルス感染症等の影響による試験期日(延期日))

令和8年10月17日(土)・18日(日)

また，延期した場合，オンライン会議システム「Microsoft Teams」を利用して遠隔にて試験を実施します。(対面では実施しません。)遠隔で実施する場合，受験者はカメラ，スピーカー，マイクの機能が備わった通信デバイス(パソコン，タブレット型パソコン等)が必要となります。スマートフォン等の電話機能のある通信デバイスは，試験を中断させる恐れがあるため，使用できません。また，Teamsを利用した遠隔による入試を実施する場合は，試験期日の1～2週間程度前に試験と同じ環境で接続テストを実施する見込みです。

変更する場合は，神戸大学大学院人間発達環境学研究科ウェブサイト (<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja>) にてお知らせします。また，出願者には受験者心得やメール(入学願書に記載のあるメールアドレス宛に送付します)にて入試方法等の詳細を通知します。

- (3) 試験場
神戸大学大学院人間発達環境学研究科学舎
神戸市灘区鶴甲3丁目11 (市バス36系統「神大人間発達環境学研究科前」下車)

※ 交通機関の運休，気象警報発表時等の入学試験実施について
試験当日に次のA，B及びCのいずれかに該当する場合，当日の試験は中止し，翌日に実施します。

A. 以下①，②のいずれかに該当する場合

① JR西日本(神戸線(大阪駅～姫路駅))，阪急電鉄(神戸本線(大阪梅田駅～神戸三宮駅))及び阪神電気鉄道(阪神本線(大阪梅田駅～元町駅))のうち2線が同時に運休した場合

② 神戸市バス16系統及び36系統が同時に運休した場合

ただし，午前6時までに交通機関が運行した場合は，試験を実施します。

B. 試験当日に神戸市灘区に暴風警報又は特別警報が発表された場合

なお，気象警報が広域に発表された場合は，神戸市が含まれている場合にこの取扱いを適用します。

ただし，午前6時までに気象警報が解除された場合は，試験を実施します。

C. 本研究科の所在地(神戸市灘区鶴甲3丁目11)に市町村等から避難勧告・避難指示(緊急)・災害発生情報が発令された場合

なお，避難勧告・避難指示(緊急)・災害発生情報に関する情報は，神戸市のホームページで発表されたものによります。

(別表) 試験科目・試験時間等

I 試験科目

解答は、日本語で行うことを原則としますが、英語による解答を認める場合は、その旨を問題に表記します。

【人間発達専攻】

◎一般入試

| 講 座 | 受験区分 | 専 門 科 目 |
|------|-------|--|
| 人間発達 | 心理系 | 1. 発達心理学に関する問題 2. 以下の中から1科目を当日選択 a. 人格心理学 b. 教育心理学 c. 臨床心理学 d. 発達障害 e. 精神生理学 |
| | 臨床心理学 | 1. 臨床心理学に関する問題 2. 以下の中から2科目を当日選択 a. 発達心理学 b. 人格心理学 c. 教育心理学 d. 発達障害 e. 精神生理学 |
| | 表現系 | これまでに行った研究*とその成果に関するプレゼンテーション（提示10分程度，入学後の研究計画との関連性についての説明5分程度），及び質疑応答 *論文，作品，パフォーマンス，活動等 |
| | 行動系 | 1. 以下の中から1科目を出願時に選択 a. スポーツ文化史 b. 身体システム論 c. 運動処方論 d. スポーツジェロントロジー e. 加齢の認知心理学 f. 健康行動加齢論 g. 応用身体運動科学 h. ニューロメカニクス i. 社会関係適応論 2. これまでに行ってきた研究及び入学後の研究計画に関するプレゼンテーション及び質疑応答 |

| | | |
|------|-----|---|
| 人間発達 | 教育系 | 以下の中から1科目を出願時に選択 a. 教育哲学・教育史 b. 教育行政・制度 c. 教育方法学 d. 教師教育学 e. 教科教育学（自然） f. 教科教育学（社会） g. 乳幼児の教育 h. 児童文学・国語教育 i. 数理認識発達・数学（算数）教育 j. 音楽表現発達・音楽教育 k. 身体運動発達・身体教育 l. 美術・造形教育 m. 家族・子育て支援 n. 社会教育・エンパワメント・生涯学習 |
|------|-----|---|

◎ **社会人特別入試**

- (1) 受験区分「心理系」「教育系」のいずれかを選択する場合は、下記の試験方法をとります。
- ・受験者全員に上記専門科目の筆記試験を課します。
 - ・それに加えて、社会実践，教育実践等にかかわる次のような研究報告・論文・作品等のある志望者は、出願時にその提出を求めます。これらを可否の判定で考慮する場合があります。
 - ア. 著書，公開された作品等
 - イ. 学会誌，紀要等に掲載された論文
 - ウ. 商業誌等に掲載された論文・研究報告
 - エ. その他これに準じるもの
- (2) 受験区分「臨床心理学」「表現系」「行動系」のいずれかを選択する場合，一般入試と同じ試験方法をとります。

◎ **外国人留学生特別入試**

一般入試と同じ試験方法をとります。

【人間環境学専攻】

◎一般入試

| 講座 | 受験区分 | 専門科目 |
|-------|---------|--|
| 人間環境学 | 自然環境論 | 以下の4分野(a～d)から，1分野を出願時に選択する。 a. 物理学 b. 化学 c. 生物学 d. 地球科学 |
| | 数理情報環境論 | 線形代数と微分積分に関する問題 |
| | 生活環境論 | 以下の8分野(a～h)から1分野を出願時に選択する。 a. 緑地環境学 b. 環境システム c. 環境経済・政策 d. 衣環境学 e. エレクトロニクス f. 環境保健学 g. 食環境学 h. 都市地域生態学 |
| | 社会環境論 | 以下の7分野(a～g)のうち，aは全員が選択し，さらに，b～gから1分野を出願時に選択する。 a. 社会環境論基礎 b. 開発学 c. 人文地理学 d. 社会学 e. 経済学 f. 法律学 g. 社会思想 |

◎ 社会人特別入試

一般入試と同じ試験方法をとります。

◎ 外国人留学生特別入試

(1) 一般入試と同じ試験方法をとります。

(2) 人間環境学専攻の外国人留学生特別入試志願者で，専門科目について英語による出題を希望する場合は，必ず指導を希望する教員と相談した上で願書の選択科目に関する所定の箇所にその旨を記入してください。解答は，日本語又は英語とします。

II 口述試験

志望する受験区分での今後の研究等について、各自の研究計画書に基づいて行います。

(令和9年度入試配点)

| 区 分 | 一般入試 | 社会人特別入試 | 外国人留学生特別入試 |
|-------|---------|---------|------------|
| 専門科目 | 200 | 250 | 200 |
| 外国語科目 | 100 | 50 | 100 |
| 口述試験 | A, B, C | A, B, C | A, B, C |

- (注) 1. 外国語科目については、提出された英語試験のスコアをそれぞれの難易度に応じた方法により100点満点に換算します。複数種類の英語試験のスコアが提出された場合は、換算後の点が最も高い点を採用します。
2. 口述試験の成績がCの者は、合格者の対象となりません。

III 試験時間等

口述試験の集合時刻は、筆記試験又はプレゼンテーション試験当日に掲示等をもって通知します。1日で試験を実施する場合は、口述試験を専門科目（筆記試験またはプレゼンテーション）終了後に行います。詳しくは、受験票送付時または試験当日に書面により通知します。

なお、試験期日は延期する可能性があります。（7ページの7. (2)試験期日を参照）

【人間発達専攻】

○受験区分「心理系」「臨床心理学」「教育系」で受験する者

| 期 日 | 試 験 区 分 | 試 験 時 間 |
|--------------|------------|---------------|
| 令和8年9月10日（木） | 専門科目（筆記試験） | 10:00～12:00 |
| 令和8年9月11日（金） | 口述試験 | 筆記試験日当日通知します。 |

(注) 「臨床心理学」については、口述試験当日の午前11時に入学試験に関する掲示場(人間発達環境学研究科掲示板)で通知します。（7ページの7. (2)試験期日を参照）

○受験区分「表現系」で受験する者

| 期 日 | 試 験 区 分 | 試 験 時 間 |
|--------------|-----------------|-------------------|
| 令和8年9月10日（木） | 専門科目（プレゼンテーション） | 10:00～ |
| 令和8年9月11日（金） | 口述試験 | プレゼンテーション当日通知します。 |

○受験区分「行動系」で受験する者

| 期 日 | 試 験 区 分 | 試 験 時 間 |
|--------------|-----------------|----------------|
| 令和8年9月10日（木） | 専門科目（筆記試験） | 10:00～11:00 |
| 令和8年9月11日（金） | 専門科目（プレゼンテーション） | 筆記試験終了後に連絡します。 |
| | 口述試験 | |

【人間環境学専攻】

| 期 日 | 試 験 区 分 | 試 験 時 間 |
|--------------|------------|--|
| 令和8年9月10日(木) | 専門科目(筆記試験) | 10:00~12:00(自然環境論・数理情報環境論) 10:00~12:30(生活環境論・社会環境論) |
| | 口述試験 | 筆記試験終了時に連絡します。 |

8. 合格者発表

令和8年10月2日(金)

選抜の結果は、合格発表当日、受験者全員に速達で発送します。到着日は、10月3日(土)以降となります。

なお、掲示及びウェブサイト上での発表は行いません。また、電話等による照会には一切応じません。

新型コロナウイルス感染症の影響により、試験期日を延期した場合は、以下の期日に合格発表日を延期します。

(新型コロナウイルス感染症の影響による合格発表日(延期日))

令和8年11月23日(月)

9. 入学手続

入学手続は、令和9年3月中旬に郵送にて行います。

入学手続日、提出書類、入学手続方法等の詳細については、入学手続関係書類送付の際に通知します。なお、入学手続関係書類は、令和9年2月上旬に送付します。

| 手 続 書 類 等 | 備 考 |
|--|---|
| ① 令和9年度神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程前期課程受験票 | |
| ② 納付金 ◎入 学 料 282,000円 〔 授 業 料 前期分 267,900円 年 額 535,800円 〕 | 入学料については、(1)の入学手続日までに納付してください。 ※前期分の授業料は令和9年4月下旬に口座引き落としされますが、詳しくは合格者に別途お知らせします。 |

(注) 1. 上記の金額は、令和8年度の例です。

2. 入学手続きの詳細(提出書類及び入学料の納付方法等)については、合格者に別途お知らせします。

3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

4. 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(参考)

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について

令和9年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除の内容については、免除等の内容、申請方法等の詳細が決まり次第、神戸大学ホームページ「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料(入学料)の免除及び入学料の徴収猶予について」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/financial-aid/tuition/>)

掲載内容について、不明な点等がある場合は、下の問い合わせ先に照会してください。

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ(stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp)

10. 個人情報の取扱いについて

(1) 本研究科が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」

等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜（出願処理，試験実施），合格者発表，入学手続業務，今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。
- (3) 出願にあたって提出された個人情報は，入学者の個人情報についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本研究科より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

11. 注意事項

- (1) 出願手続後は，出願書類の記載事項の変更は認めません。
ただし，連絡先について変更があれば速やかに連絡してください。
- (2) 一度受理した出願書類の返却は認めません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした場合は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

12. 長期履修学生制度

この制度は，職業を有している等の事情により，2年間で修了に必要な単位を修得し修了することが困難な者が，入学時に計画的に2年を超えて単位を修得し修了することを申請し，大学がこれを認めた場合，2年間の授業料で2年を超えて在学できる制度です。

2年間の授業料の合計額を長期履修学生として認められた年数で除した額が年額授業料となります。ただし，在学中に授業料が改定された場合には，改定時から新授業料が適用されます。

職業を有している等の事情とは，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な者です。

- (1) 職業を有し就業している者〔自営業及び臨時雇用(単発的なアルバイトを除く。)を含む。〕
 - (2) 家事，育児，介護等の事情を有する者
 - (3) その他人間発達環境学研究科長が相当と認めた者
- なお，職業を有している等の事情であっても一定の条件のもとに認められる制度です。
申請希望者は，あらかじめ担当係に相談してください。
申請手続の期限は，令和9年2月8日(月)です。

13. 志願者数等の状況

令和6年度（人間環境学専攻は第2次募集・第3次募集における人員を含む。）

| 専攻 | 募集人員 | 志願者数 | | 受験者数 | | | 合格者数 | | | 入学者数 | | | |
|---------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|---|----|
| | | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | | |
| 人間発達専攻 | 51 | 80 | 3 | 14 | 73 | 3 | 12 | 50 | 1 | 7 | 46 | 1 | 6 |
| 人間環境学専攻 | 18 | 32 | 2 | 16 | 26 | 2 | 14 | 17 | 0 | 8 | 16 | 0 | 8 |
| 合計 | 69 | 112 | 5 | 30 | 99 | 5 | 26 | 67 | 1 | 15 | 62 | 1 | 14 |

令和7年度（人間環境学専攻は第2次募集における人員を含む。）

| 専攻 | 募集人員 | 志願者数 | | 受験者数 | | | 合格者数 | | | 入学者数 | | | |
|---------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|---|---|
| | | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | | |
| 人間発達専攻 | 51 | 90 | 4 | 17 | 87 | 4 | 15 | 52 | 3 | 6 | 50 | 3 | 5 |
| 人間環境学専攻 | 18 | 19 | 0 | 12 | 16 | 0 | 10 | 9 | 0 | 5 | 8 | 0 | 4 |
| 合計 | 69 | 109 | 4 | 29 | 103 | 4 | 25 | 61 | 3 | 11 | 58 | 3 | 9 |

令和8年度（人間発達専攻は第2次募集における人員を含む。）

| 専攻 | 募集人員 | 志願者数 | | 受験者数 | | | 合格者数 | | | 入学者数 | | | |
|---------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|---|----|
| | | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 社会人 | 外国人 | 外国人 | | |
| 人間発達専攻 | 51 | 71 | 5 | 21 | 64 | 5 | 16 | 50 | 3 | 11 | 46 | 3 | 9 |
| 人間環境学専攻 | 18 | 21 | 0 | 8 | 18 | 0 | 7 | 16 | 0 | 5 | 16 | 0 | 5 |
| 合計 | 69 | 92 | 5 | 29 | 82 | 5 | 23 | 66 | 3 | 16 | 62 | 3 | 14 |

- (備考) 1. 内数で社会人特別入試, 外国人留学生特別入試の数を示しています。
2. 人間環境学専攻の募集人員等に推薦入学試験分は含みません。
(令和4年度より人間環境学専攻において推薦入学試験を実施)

14. 過去問の閲覧について

過去の試験問題(筆記試験を行った直近の3年分)を, 人間発達環境学研究科教務学生係にて閲覧できます。閲覧時間は, 平日の午前10時から午後4時です。

また, 大学生協では, 郵送等によるコピーサービスをしていますので, 下記へお問い合わせください。

神戸大学生生活協同組合 TEL (078)881-8847
<http://www.kucoop.jp/exam/question.html>

15. 《麻しん（はしか）・風しんの感染予防措置》

麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ①麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
- ②過去5年以内（令和4（2022）年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③過去5年以内（令和4（2022）年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表を参照）を有していること」を証明する書類

- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
- * 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。
- * 既往歴（かかったこと）がある場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、以下の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：保健管理センター

麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

| 区分 | 測定方法 | 判定基準 | 備考 |
|-----|----------|-----------|--------------------------------|
| 麻しん | IgG-EIA法 | 8.0以上の陽性 | 3つの測定方法のうち、いずれかで陽性 |
| | PA法 | 256倍以上の陽性 | |
| | NT法 | 4倍以上の陽性 | |
| 風しん | HI法 | 32倍以上の陽性 | 2つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI法を推奨) |
| | IgG-EIA法 | 8.0以上の陽性 | |

- * ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。
- * 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。
- * 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、**単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。
- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学 保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学 学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

16. 教員一覧(50音順)【2026年4月1日現在】

【人間発達専攻人間発達講座】

| 受験区分 | 職名 | 教員氏名 | 受験区分 | 職名 | 教員氏名 |
|------------------------------|-------|--------|--------------------------|-------|---------|
| 心理系 ○印は「臨床心理学コース」担当教員を示す。 | 准教授 | ○相澤 直樹 | 行動系 | 准教授 | 秋元 忍 |
| | 教授 | 赤木 和重 | | 准教授 | 石原 暢 |
| | 准教授 | ○安達 友紀 | | 助教 | 打田 篤彦 |
| | 助教 | 柿沼 享祐 | | 准教授 | 木伏 紅緒 |
| | 教授 | ※加藤 佳子 | | 准教授 | 木村 哲也 |
| | 講師 | ○岸田 広平 | | 教授 | 佐藤 幸治 |
| | 教授 | 坂本 美紀 | | 准教授 | ※高田 義弘 |
| | 教授 | 林 創 | | 教授 | ※高見 和至 |
| | 准教授 | 古谷 真樹 | | 教授 | 長ヶ原 誠 |
| | 准教授 | ○山根 隆宏 | | 教授 | 原田 和弘 |
| 助教 | 山本 健太 | 教授 | ※前田 正登 | | |
| | | | 教授 | 増本 康平 | |
| 表現系 | 准教授 | 上田 香 | 教育系 | 准教授 | 稲原 美苗 |
| | 教授 | 大田 美佐子 | | 教授 | 岡部 恭幸 |
| | 准教授 | 岡野 真裕 | | 教授 | 川地 亜弥子 |
| | 教授 | 岸本 吉弘 | | 教授 | 北野 幸子 |
| | 助教 | 清水 大地 | | 助教 | 後藤 聡美 |
| | 准教授 | 関 典子 | | 准教授 | 田中 伸 |
| | 教授 | 谷 正人 | | 教授 | 津田 英二 |
| | 教授 | 田畑 暁生 | | 准教授 | 勅使河原 君江 |
| | 教授 | 野中 哲士 | | 教授 | 中谷 奈津子 |
| | 教授 | 平芳 裕子 | | 准教授 | 峯 恭子 |
| | 講師 | 余田 有希子 | | 助教 | 村瀬 瑠美 |
| | | | | 教授 | 目黒 強 |
| | | | | 教授 | 山口 悦司 |
| | | 教授 | 山下 晃一 | | |
| | | 准教授 | ラッラ・エルッキ・クビ ^o | | |
| | | 教授 | 渡邊 隆信 | | |

※：令和10年（2028年）3月退職予定

【人間環境学専攻人間環境学講座】

| 受験区分 | 職名 | 教員氏名 |
|---------|--|--|
| 自然環境論 | 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 助教 教授 教授 教授 教授 | 蘆田 弘樹 丑丸 敦史 江原 靖人 大串 健一 近江戸 伸子 黒澤 耕介 小谷野 由紀 佐賀 達矢 佐藤 春実 高見 泰興 谷 篤史 源 利文 |
| 数理情報環境論 | 准教授 教授 助教 准教授 | エスカラ エマツノ 桑村 雅隆 周 怡 長坂 耕作 |
| 生活環境論 | 教授 准教授 准教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 | 井上 真理 内山 愉太 大野 朋子 佐藤 真行 田畑 智博 福田 博也 村山 留美子 湯浅 正洋 |
| 社会環境論 | 准教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師 | 井口 克郎 太田 和宏 坂井 晃介 橋本 直人 原 将也 松山 沙織 |